校長室だより

☆教育目標☆
自ら考え判断し、進んで行動できる富中生
＜生活心得＞　時を守り　場を清め　礼を正す
令和元年９月１７日発行　№10
富岡市立富岡中学校 校長　中村　喜雄

☆☆言葉は人を育てる基本・・・☆☆

先日、所用があって高崎の百貨店へ行った時のことです。隣接する駐車場に車を置き、通路を使い百貨店のエレベーターに乗りました。7階の売り場へ向かいエレベーターに乗っていると、途中、５階でエレベーターが止まり、小学生低学年と思われる男の子と母親が乗り込んできました。

その子は、私を見ると、「こんにちは」と澄んだ声で言い、頭を下げたのです。思いがけない挨拶に少し戸惑いながらも嬉しく感じて、私も笑顔で、「こんにちは」と自然と頭を下げました。その後すぐに、「えらいわね。〇〇ちゃんは、知らない方にも上手に挨拶ができるのね」と、母親が静かな声でそっと言葉をかけました。

私は、この子どもも素晴らしいと思いましたが、それ以上に、その場で母親が「えらいわね。・・・」と、その行為を認め、褒めたことがとても素晴らしいと思いました。以前参加した教育セミナーで、「子どもにとって最初の、そして最大の躾（しつけ）は『言葉』である。一般的に、子どもにきちんとした言葉を教えることを、親の役割と考えている人が少ない。言葉をきちんとしておけば、躾（しつけ）の基本ができるわけで、後々の躾も順調に行われる。言葉こそ、本当の躾である。これをないがしろにして、後の行儀作法の躾をしようとしても上手くいくわけがない。・・・」と述べています。

この話は、言葉が人を育てる基本であるということを言っているのですが、先ほどの母親は、このことをしっかりと理解し、実践しているなと感心した次第です。私たち大人の言葉遣いが、我が子に大きな影響を与えることは間違いありません。『言葉遣いは、心遣い』ということを常に心におきたいものです。

私は、あるパンフレットで目にした下の言葉を大切にし、教員時代、教え子たちにその意味を伝え続けてきました。

一つの言葉でけんかして　一つの言葉で仲直り
一つの言葉で頭が下がり　一つの言葉で笑い合い
一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれぞれに　一つの心をもっている
きれいな言葉はきれいな心　優しい言葉は優しい心
一つの言葉を大切に　一つの言葉を美しく

１８５名の富中生たちにも、言葉の大切さを伝えていきたいと思います。ぜひ、御家庭でも話題の一つにしていただければ・・・